

領域 10 IM 議事録

池田先生(領域代表)議事進行、堀部(連絡委員)議事録メモ作成

日時：2019年9月12日(木)、12:15-12:50

会場：B22 会場 出席者：21名

1. 運営会議報告

2019年6月7日のプログラム編集会議に合わせて領域10運営会議を開催。主な報告事項は下記の2点。

- (1) 学生優秀発表賞の条件に付いて（後述）
- (2) 座長への配布依頼：運営委員が Email にて学会事務局へ依頼。全分科で問題無く実施。

2. 学生優秀発表賞について

領域10内での内規(発表件数3回の縛り)をどうするか、について議論を行った。

- ・3回の条件を変更する：2回または1回に減らす+審査を加えるまたはこのままにする
- ・X線分科インフォーマルミーティングでの意見集約の結果（荒川先生）：
 - ・修士課程学生を対象にするか、博士課程学生を対象にするかによって制約が異なる。
 - ・3回の発表のまま、1回の発表のものもあっても良い
 - ・審査については、内容を Email 等で送ってもらって審査することも可能。
 - ・要綱に厳密な審査との文言があると良い（厳密な審査で有る旨を周知する）。
- ・誘電体分科インフォーマルミーティングでの意見集約の結果（符先生）
 - ・発表回数を2回にする。筆頭者として、過去発表1回（口頭発表もしくはポスター発表）と受賞時口頭発表1回とする。
 - ・審査はこれまでの方法で行う。
- ・インフォーマルミーティングにおいては、以下の意見集約が行われた。
 - ・努力が評価されるべき制度にする（誰でも受賞可能な制度は×）
 - ・発表回数は減らす／審査方法はこれまで通りで行う。
 - ・要綱に審査条件を明記しておく。
 - ・他の分科については、議論の後に Email にて連絡する。
- ・今後の議論については、Email 会議もしくは12月の領域10運営会議にて行う。

3. 大会改革について（報告事項）

- ・講演数・参加者数の減少、大会事業の赤字経営、開催可能会場(大学)の減少のため、以下の大会改革を行う。
 - ・2020 年年次大会より冊子体プログラムの廃止
 - ・2021 年年次大会より大会会場の有効活用：領域を跨いだ部屋の使用

／ポスターセッションも1日3つ

4. シンポジウムについて

- ・2019 秋は領域 10 からのシンポジウム無し。積極的な提案をする。
- ・2020 年春は、1 件のシンポジウムが決定。1 件のシンポジウムが調整中。
テーマ: 「ミルフィーユ構造の材料科学」に関する内容

5. 次期領域代表・副代表・運営委員について

- ・各分科インフォーマルミーティングで承認された次々期運営員候補者について、全員承認。未決の候補者については、後日連絡。
- ・副代表の選出方法について
 - ・これまでの順番は、格子欠陥→誘電体→X 線・粒子線→(フォノン) の順。ただこの順番ではフォノン分科の負担が大きいと考えられる。
 - ・このため、(1) まずはフォノン分科に副代表選出を依頼 (2) フォノン分科が辞退の場合には、格子欠陥分科に副代表選出を依頼 (3) 副代表と 2021 年度連絡委員の所属分科は揃える (フォノン分科から副代表選出の場合は、2021 年度連絡委員の選出も依頼)
- ・2020 年度連絡委員は電子線分科の森川先生が担当。

6. その他

各領域の提出率を報告(領域 10 は 93.3%)。